



地域の未来を考える 住民対話会

2026年4月26日
コミュニティ・プラザ 大会議室

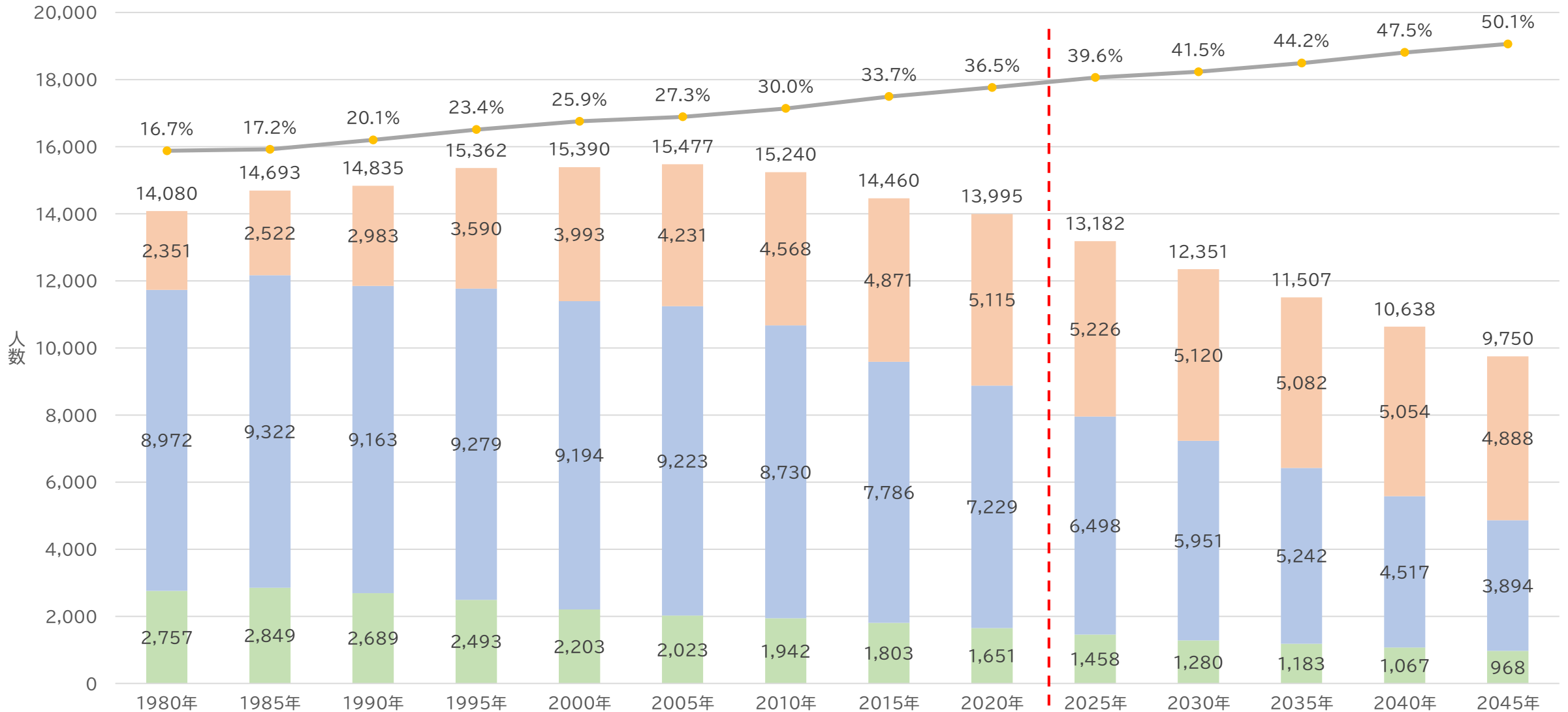
町長あいさつ

なぜ、『地域』をテーマに対話会を実施するのか

富士見町の人口推移

富士見町 人口推移 (国勢調査)

■ 年少人口(14歳以下) ■ 生産年齢人口(15-64歳) ■ 老年人口(65歳以上) ● 高齢化率

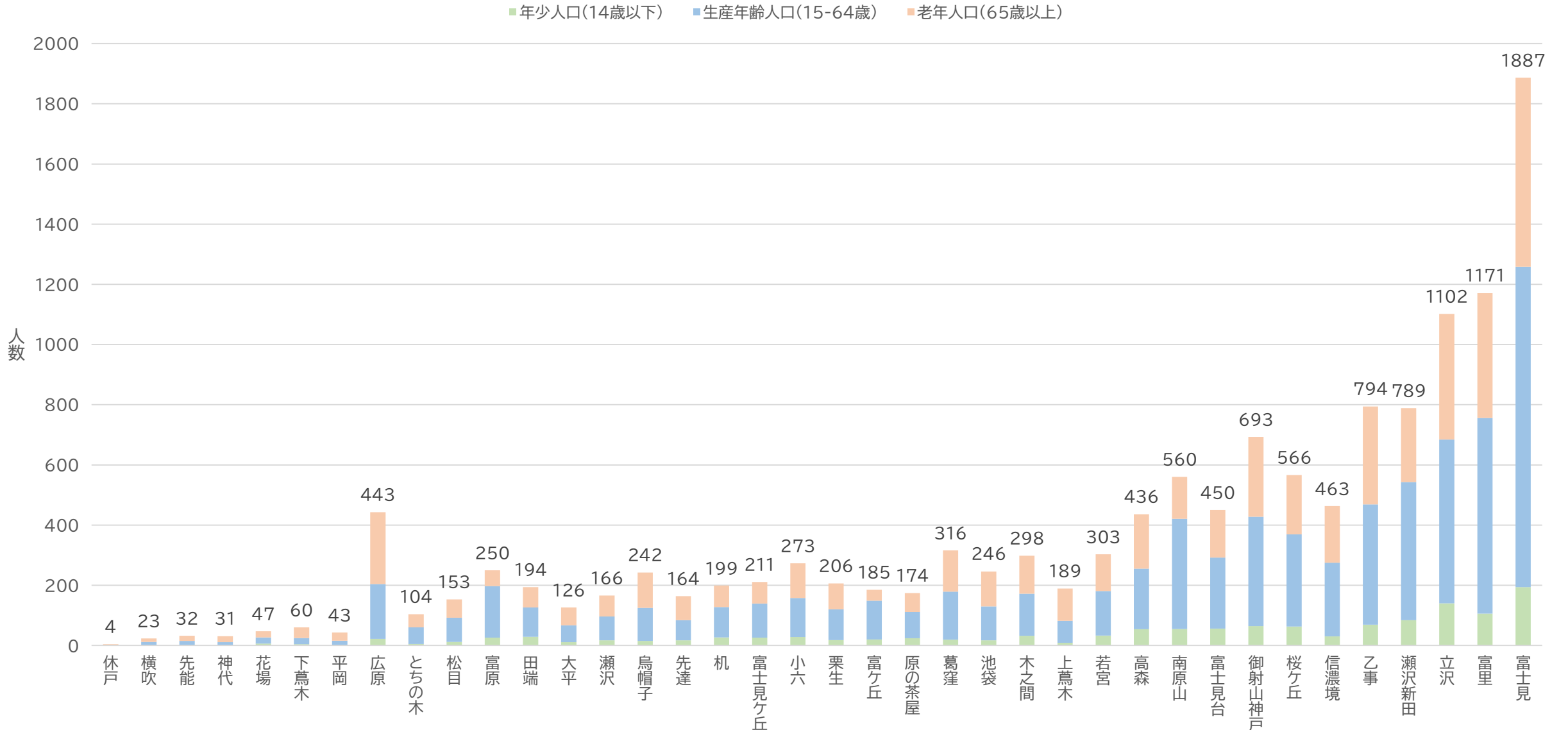


推計値

※国勢調査の結果をもとに作成。2025年以降は推計値
 ※2020年の数値は年齢不詳89名を含んでいない

区・集落組合の状況

区・集落組合別の人口 2026.04.01



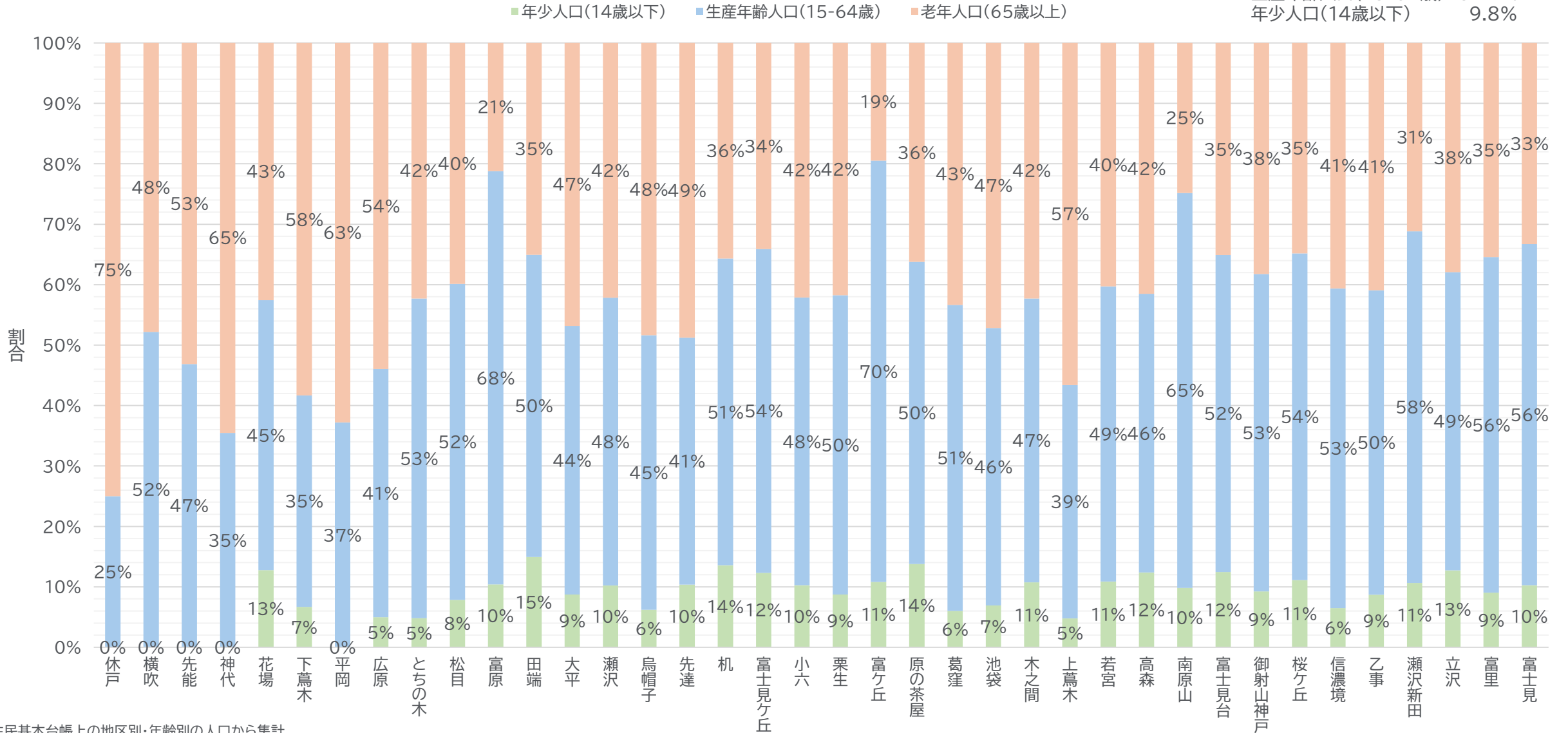
※住民基本台帳上の地区別・年齢別の人口から集計

区・集落組合の状況

年齢区分別割合 2026.04.01

【富士見町 全体】

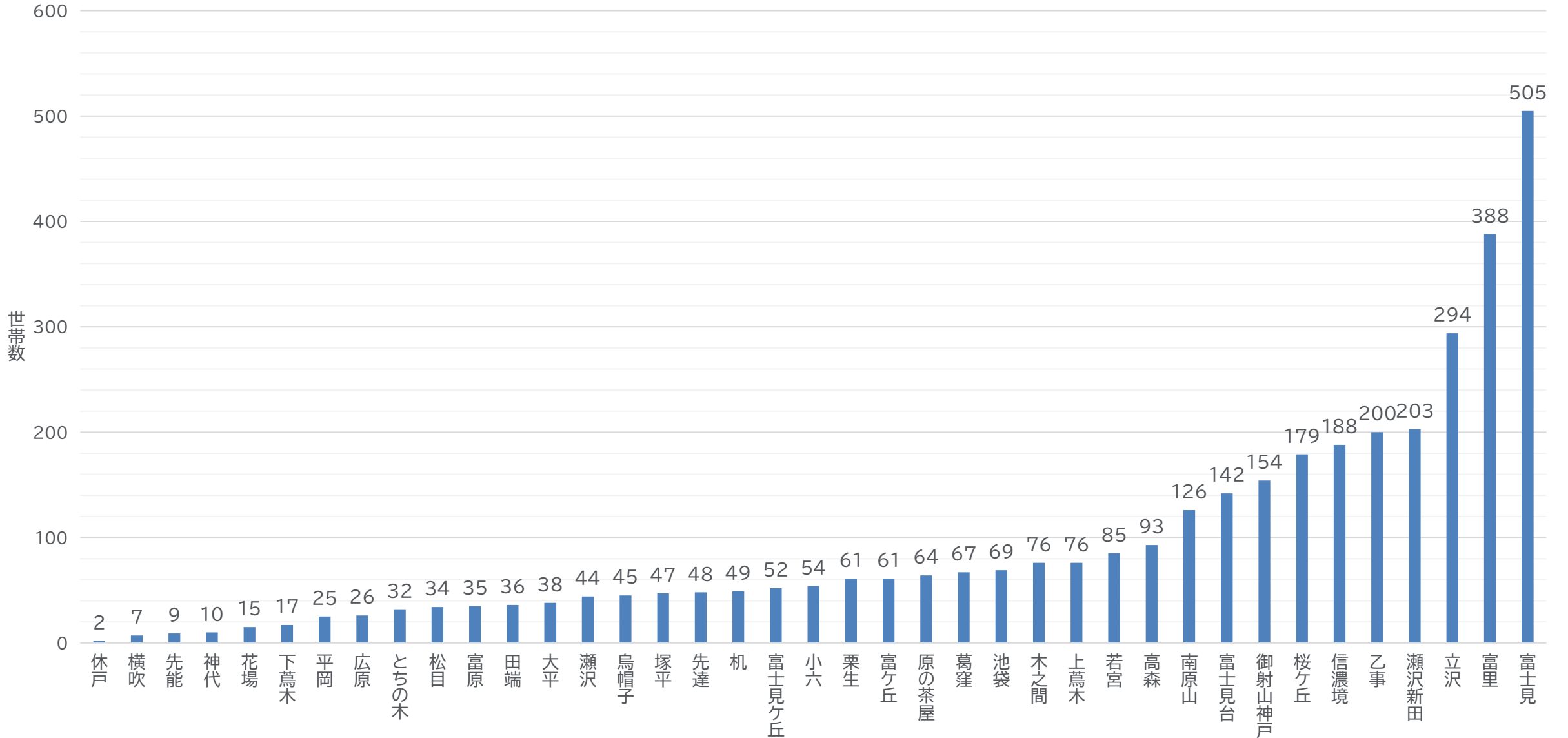
老年人口割合(65歳以上) 37.8%
生産年齢人口(15-64歳) 52.4%
年少人口(14歳以下) 9.8%



※住民基本台帳上の地区別・年齢別の人口から集計

区・集落組合の状況

入区世帯数 2025.10

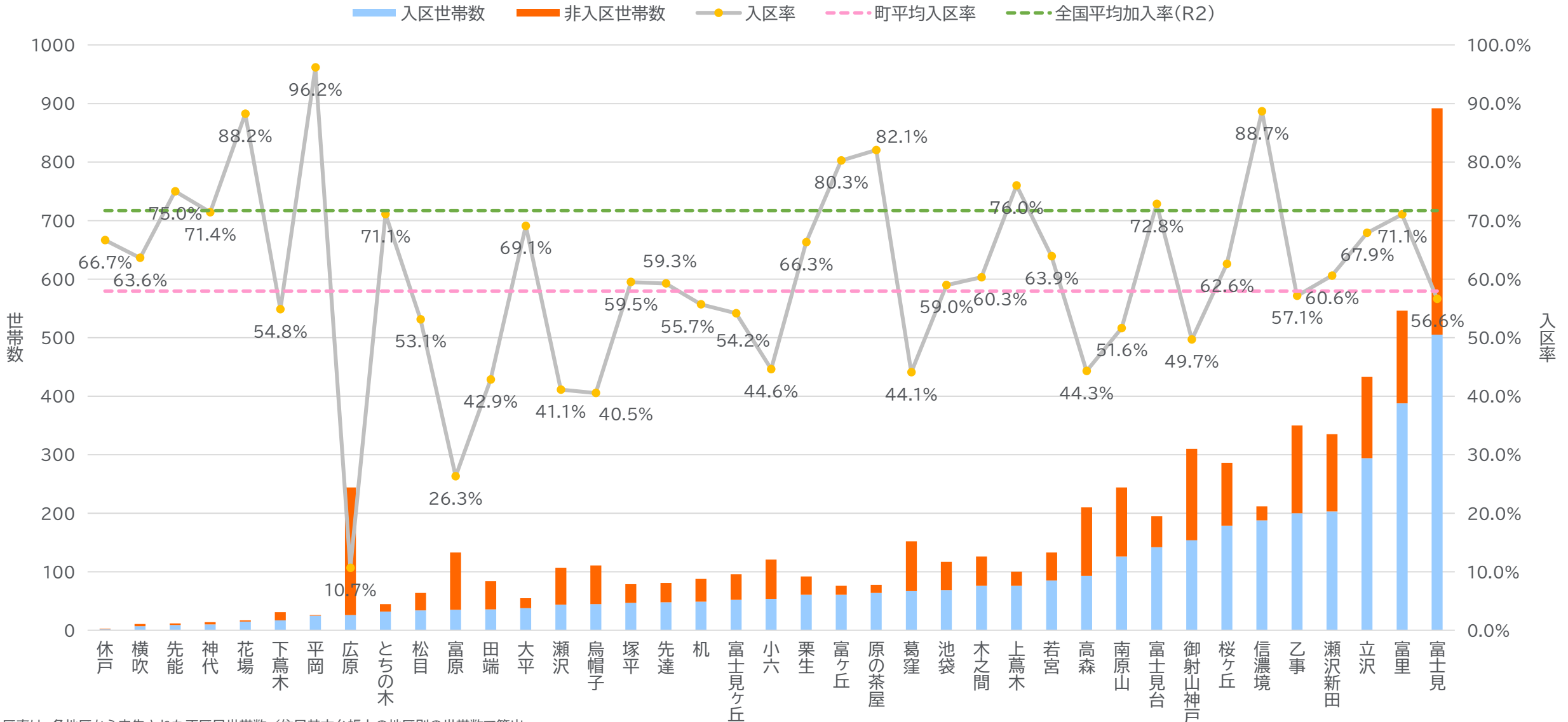


※各地区から申告された正区民世帯数から集計

区・集落組合の現状

注:算出に使用している世帯数の数え方が、各地区および住民基本台帳上では異なることから、各地区の状況を正確に反映している数字ではありません。なお、母数となる世帯には集合住宅居住者等も含んでいます。

<参考値> 入区率 2025.10

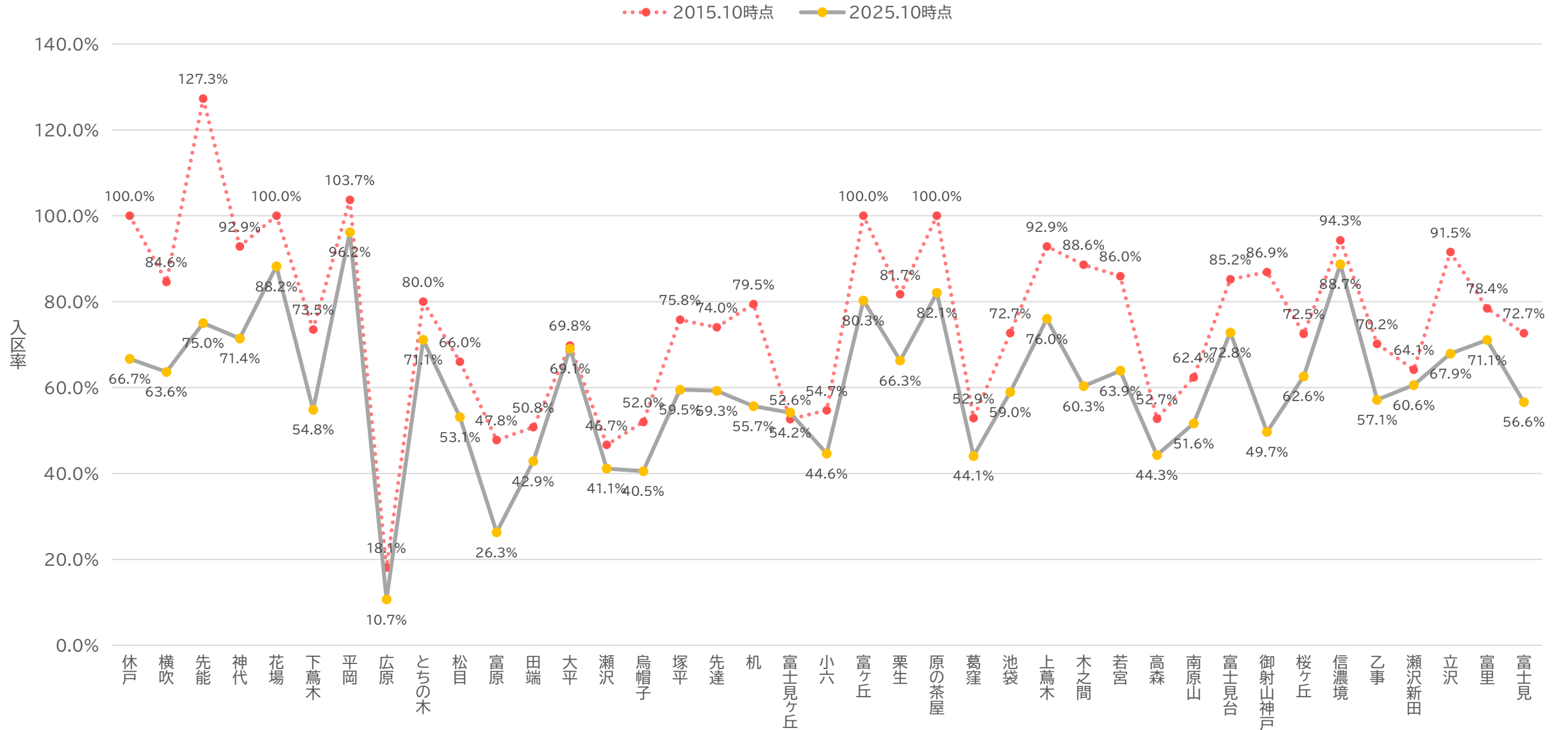


※入区率は、各地区から申告された正区民世帯数/住民基本台帳上の地区別の世帯数で算出
 ※全国平均値はR4年総務省「自治会等に関する市区町村の取組に関するアンケートとりまとめ結果」より

区・集落組合の現状

注:算出に使用している世帯数の数え方が、各地区および住民基本台帳上では異なることから、各地区の状況を正確に反映している数字ではありません。なお、母数となる世帯には集合住宅居住者等も含んでいます。

<参考値> 入区率の経年変化(2015.10 v 2025.10)



※入区率は、各地区から申告された正区民世帯数/住民基本台帳上の地区別の世帯数で算出

◇ R5年度 集落点検シートの抜粋（39地区中、35地区の区長から回答）



日常生活で地区内の助け合いはありますか？

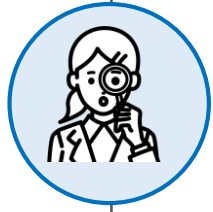
（ある）23地区（ない）10地区（不明）2地区

具体的には、近所への声掛け・共同の雪かき・高齢者の見守り・買い物、通院の手伝い 他



今後地区人口の変化により、地区での活動や作業は、どのように変化すると思いますか？

- ・高齢化、区民の減少で従前の作業や行事等を見直す必要が生じる（27地区）
- ・区民の減少により、区役員のなり手がなくなる（6地区）
- ・区に加入しない住民が増え、区民との関係が悪化する
- ・区有の施設、特に区有林には手が付けられなくなる
- ・災害時に対応できる区民がいなくなる 他



地区の将来をどう考えますか？

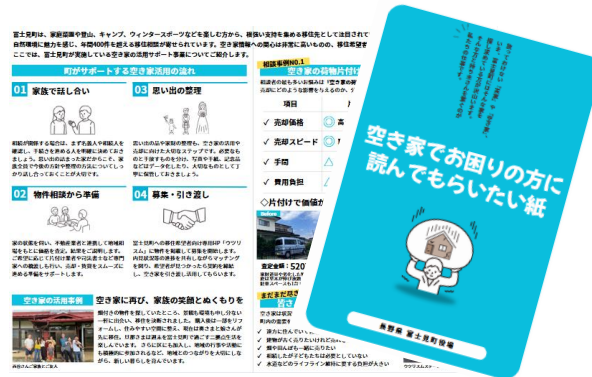
- ・高齢化、区民の減少で従来の作業や行事等が出来なくなり、区の運営自体も見直す必要が生じる（14地区）
- ・廃区となる・限界集落になる
- ・荒廃農地が増え続け、従事者がいなくなる
- ・様々な施設（店舗、農業施設、病院等）がなくなり、生活に不便な地区になってしまう 他



○ 出払い地域応援隊による小規模集落(30世帯以下)の出払い支援



○ 空き家調査／空き家セミナー等の実施による空き家利活用推進



○ 区・集落組合の紹介動画・冊子の作成による加入促進



区・集落組合 紹介動画
区ってなんだろう? | 富士見町 Welcome Guide
YouTubeにて公開中!!

区・集落組合を中心とした支え合いの中で成り立ってきた富士見町の暮らし。
変化の中でも、これから先も安心して暮らせる地域であり続けるために、

住民の皆さんとして何ができるのか、
区・集落組合として何ができるのか、
そして行政として何ができるのか。

お一人おひとりからご意見をいただきたいと思えます。

グループディスカッション

①

否定しない

②

最後まで聞く

③

一人で話しすぎない

④

リアクションを大切に

⑤

前向きに考えましょう

誕生月 + 誕生日 = ○○の数字を計算

例えば

12月25日生まれの人は 12+25で「37」

今日呼んでももらいたい名前、
住んでいる地区や出身地の自慢
を付箋に書いて模造紙に貼りましょう

「地域の暮らしの中で感じている
困っていること、気になっている(いた)こと」

例えば

区・集落組合の運営で大変なこと

区・集落組合に加入したときにハードルになったこと

暮らしの中で感じる不満・不便(買い物・移動・居場所など)

グループ内で共有／さらにはないか検討

『これからも安心して暮らせる地域にするためにどうしていったらよいか』

- ① 住民(自分)が主体的にできること
- ② 区・集落組合ができること
- ③ 行政ができること の視点で

「こうなったいいな」をグループで検討

発表

おわりに
